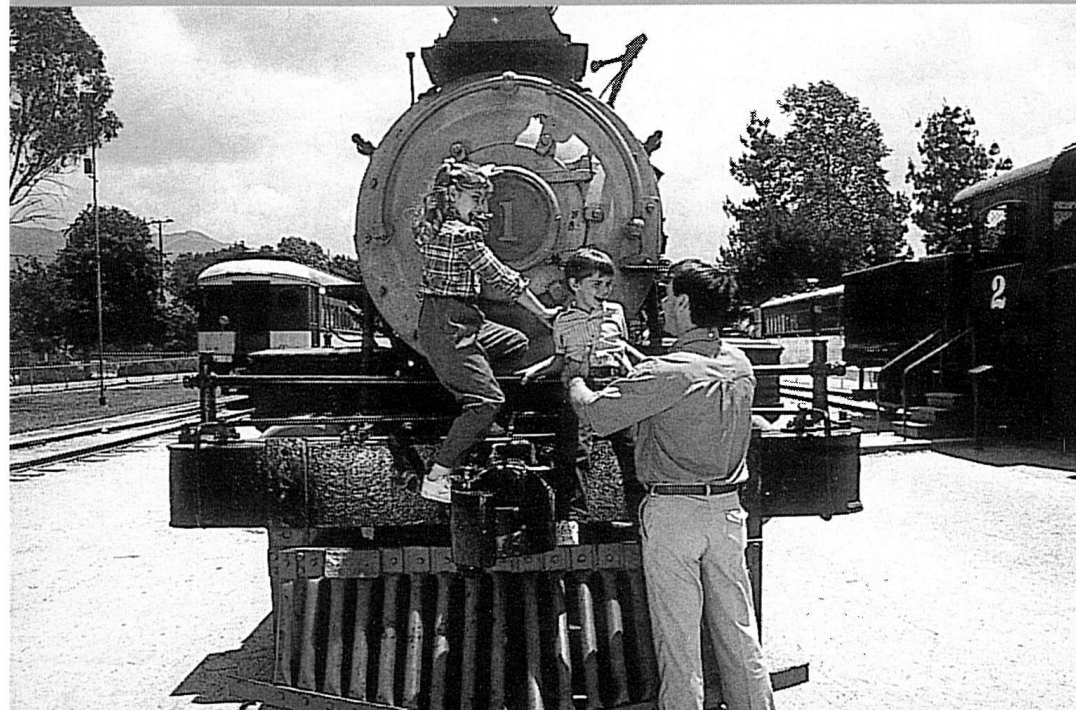


Canon AUTOBOY LITE 2 / デート



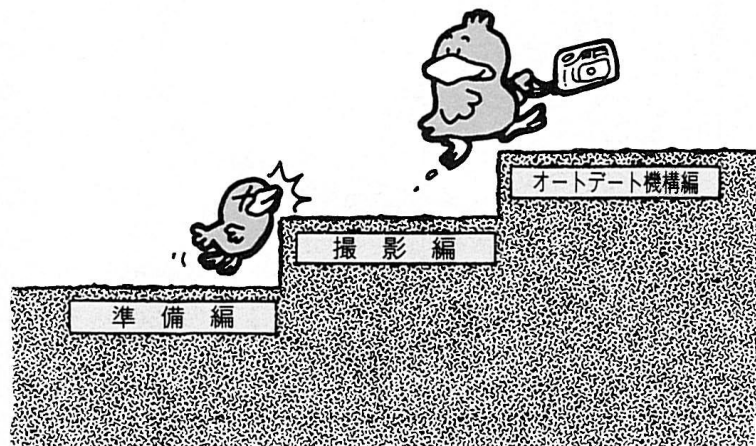
J

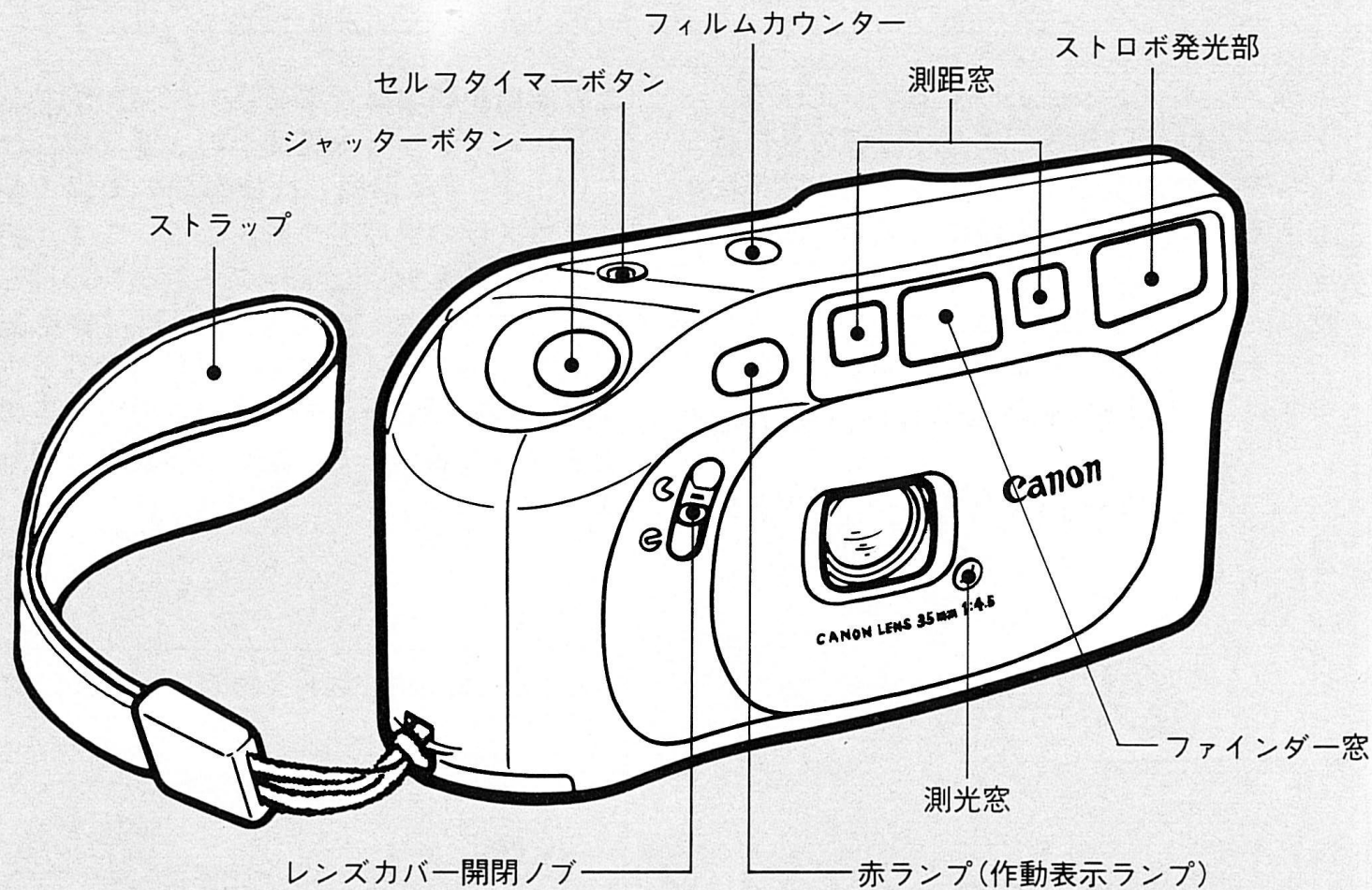
使用説明書 日本版

キヤノン製品のお買い上げありがとうございます。

キヤノンオートボーイライト2およびライト2デートは使い易さと楽しさ一杯の全自動コンパクトカメラです。カメラを初めて手にする方でも、写したいものにカメラを向けてシャッターボタンを押すだけの簡単操作で、気軽にきれいな写真が写せます。また、4枚までの予約撮影ができる新しい機能もついています。

この使用説明書は『準備編』、『撮影編』および『オートデート機構編』の3部構成になっています。『準備編』は撮影前の準備と基本的なカメラの扱い方を解説しています。特にカメラの構え方やシャッターボタンの押し方を十分にマスターしてください。『撮影編』ではひと味ちがったスナップ写真の写し方のコツを解説していますので、このカメラの機能をフルに活かして、楽しい写真をお撮りください。





目次

各部名称 3, 38

準備編 5

1. 電池をチェックします 6

2. カメラに慣れましょう 8

3. フィルムを入れます 12

撮影編 15

1. 撮影です 16

〈セルフタイマー撮影〉 17

〈フィルムを取り出します〉 19

2. 楽しい写真を撮りましょう 20

〈チャンスをのがさない枚数予約撮影〉 20

〈工夫ひとつで写真のイメージが
こんなに変わります〉 22

オートデート機構編 24

各部名称 25

1. 写し込み表示の選択 26

2. 日付けの修正 27

電池の交換 29

〈カメラ用の電池〉 29

〈デート用の電池〉 31

カメラを修理に出す前に 33

Q & A 34

取り扱い上の注意 36

主要性能一覧 37

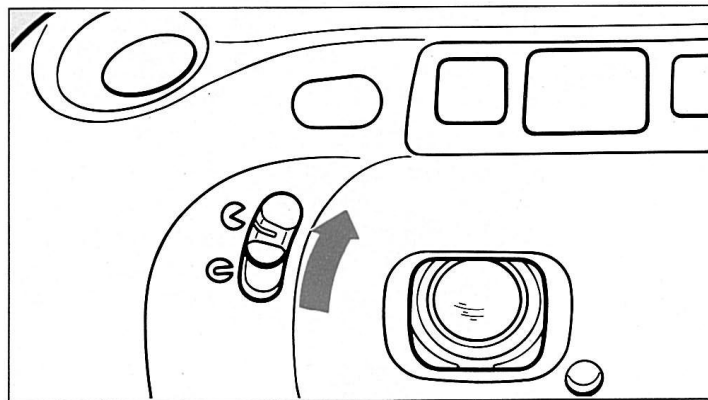
アフターサービスについて 39

準備編

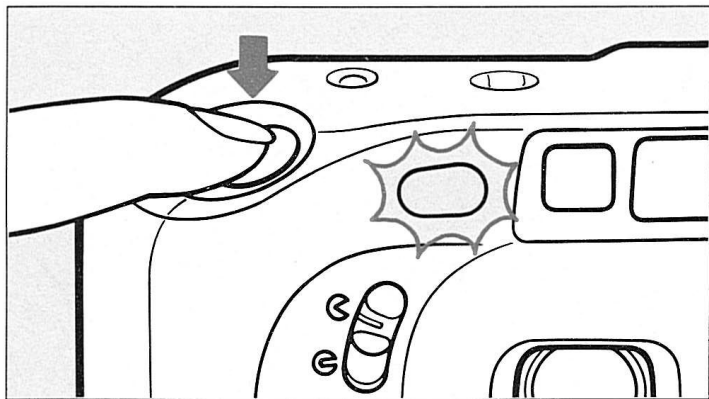


1. 電池をチェックします


カメラには専用のリチウム電池(2CR5 6V
1個)が組み込まれています。次の手順で電
池をチェックしてください。



1 レンズカバーを図のようにして開けま
す。閉じるときは逆にしてください。



2 シャッターボタンを軽く押します。赤ランプが一瞬点灯すれば撮影OKです。

 マークはカメラの使用上および撮影上の注意や覚えて欲しいことを表しています。

- 撮影本数：24枚撮りフィルム 約70本
（ストロボ30%使用時）
- 赤ランプが点灯しないときは、電池を交換します。（P.29参照）



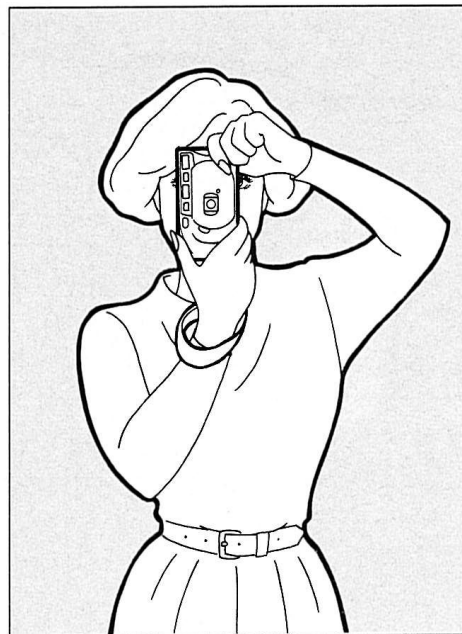
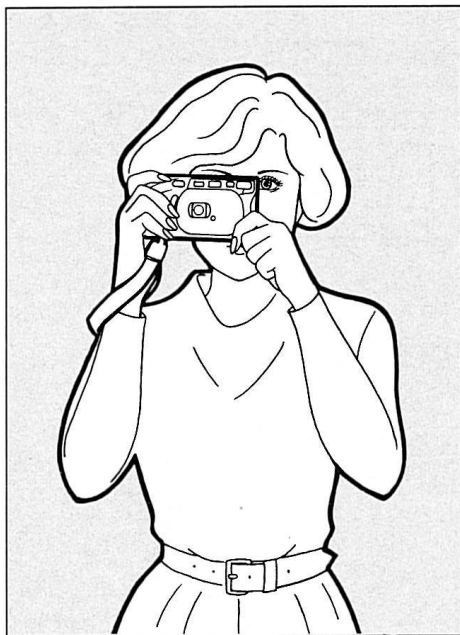
旅行などで写真をたくさん撮るときは、交換用のリチウム電池をご用意ください。

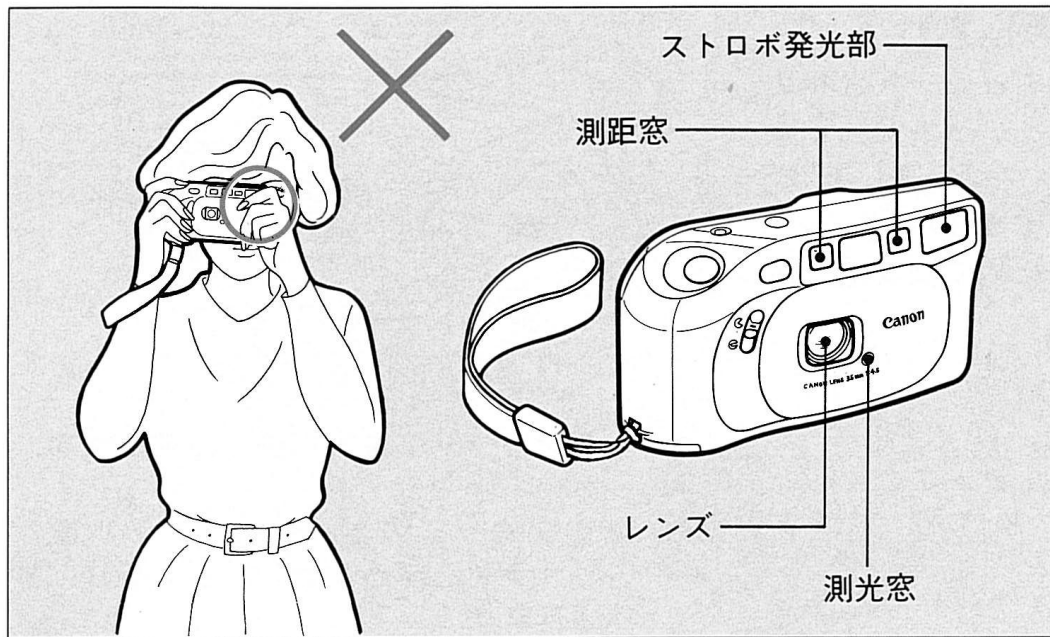
カメラを使用しないときは、レンズカバーを必ず閉じておいてください。レンズをゴミやホコリから守ると同時に携帯時やケース収納時の不用意なシャッターボタン押しによる電池消耗や無駄写しを防ぎます。

2. カメラに慣れましょう

〈カメラの構え方〉

- 1** ストラップを手首に通して、両手でカメラを持ちます。
- 2** 片方のひじを軽く体につけます。
- 3** カメラを額につけるようにして、ファインダーをのぞきます。



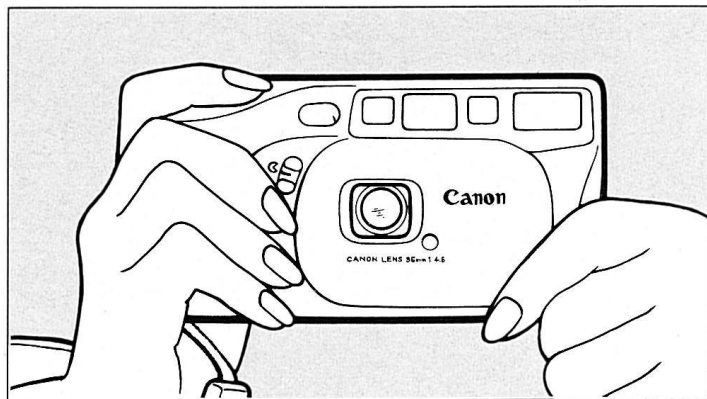


レンズ、測距窓、測光窓、ストロボ発光部に
髪や指がかからないようにします。

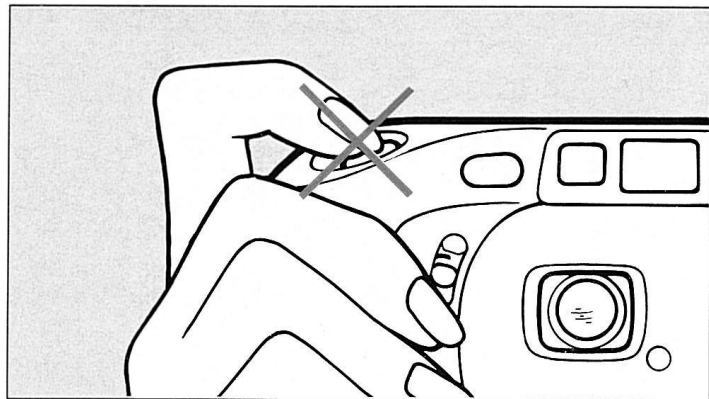
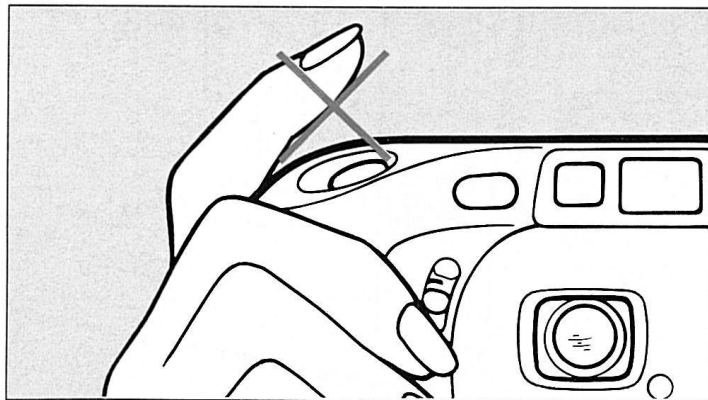
4 足はそろえずに片足を一步踏み出すよう
にすると、安定します。

〈シャッターボタンの押し方〉

シャッターボタンを軽く押すとピント合わせが行われ、深く押すとシャッターが切れて撮影となります。シャッターボタンの押し方は、きれいな写真を撮るための重要なポイントです。手ぶれ写真を作らないために繰り返し何度も練習してください。



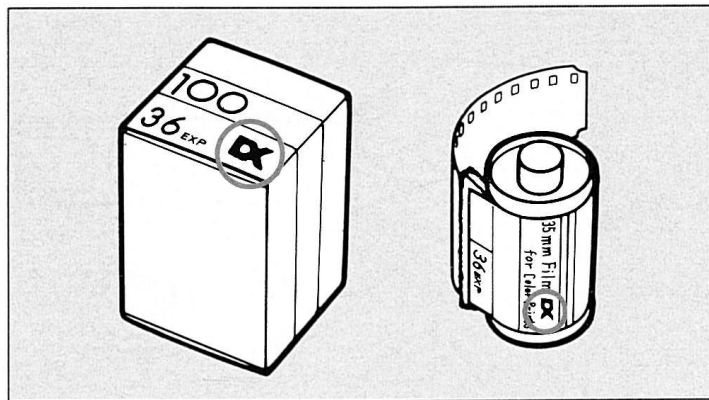
- 1 指の腹をシャッターボタンに乗せます。
- 2 シャッターを切るときは、1の状態からカメラをにぎるような感じで静かに押し込みます。



指をシャッターボタンから離して一気に押さないでください。

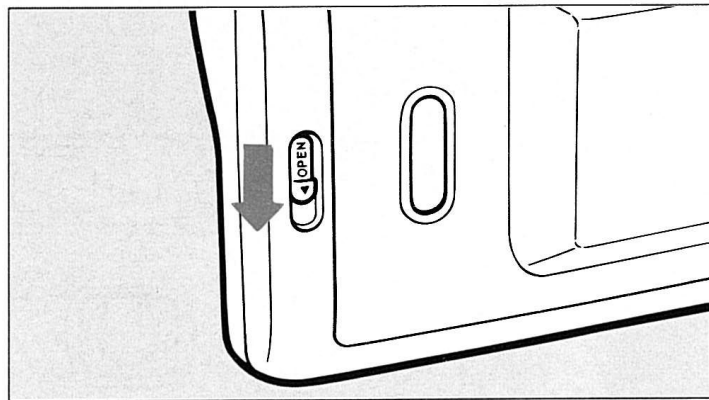
また、右図のように指を立てて押さないでください。

3. フィルムを入れます

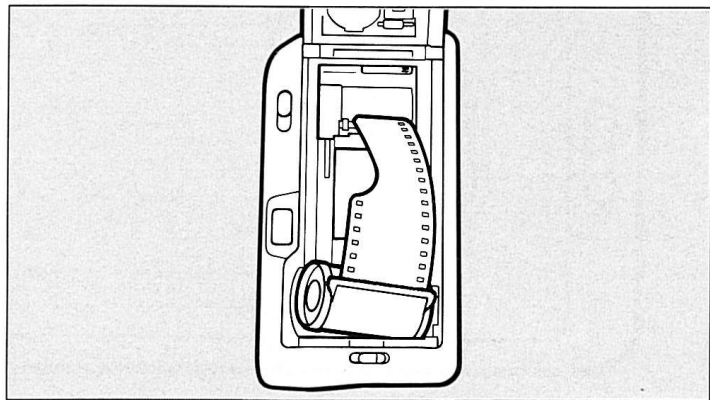


DXマークの付いたフィルムをお使いください。カメラが自動的にフィルム感度を読み取ってセットします。

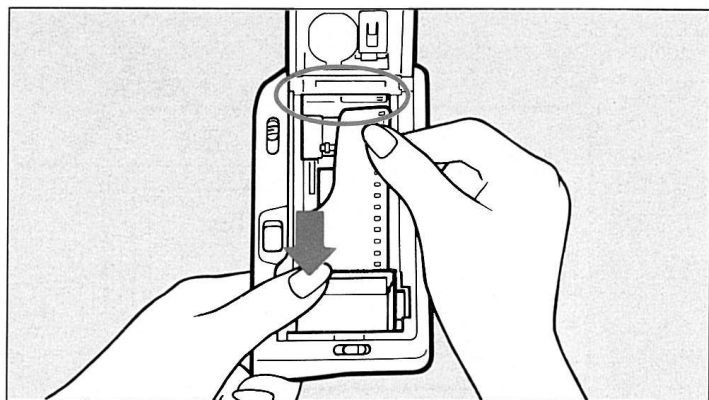
- 使用できるフィルム感度は、ISO 50～1600です。



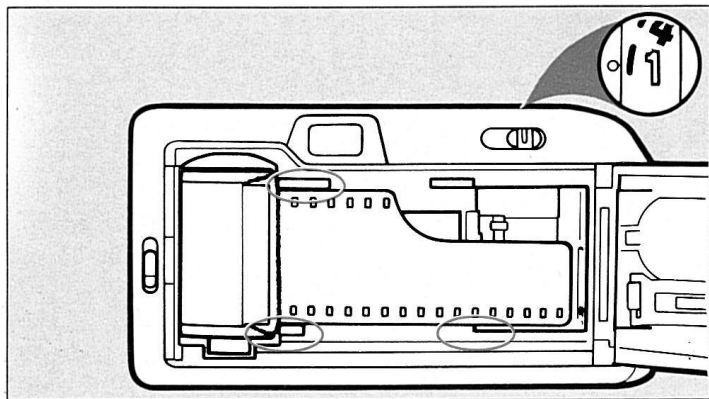
- 1 裏ぶた開放ノブを押し下げて、裏ぶたを開けます。



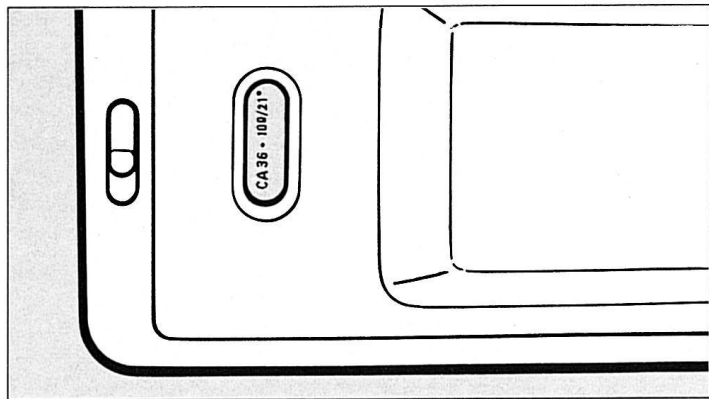
2 フィルムを図のように斜めに入れて
ます。



3 フィルムの長さをフィルム先端位置マ
ークに合うように引き出します。このとき
パトローネ(フィルム容器)を指でおさえ
るようにします。



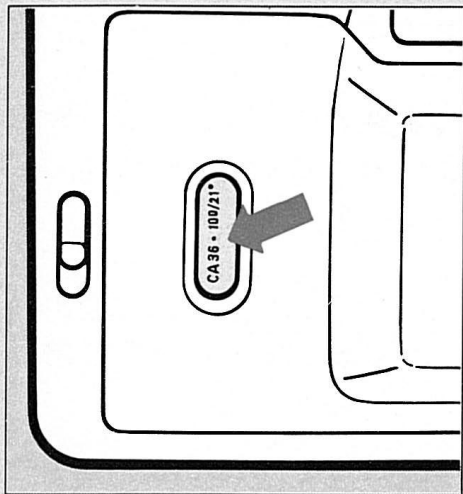
- 4** フィルムがフィルムガイドの間にあることを確認して裏ぶたを閉じます。裏ぶたを閉じると、フィルムが自動的に送られて1枚目にセットされます。フィルムが正しくセットされると、フィルムカウンターに“1”が出ます。



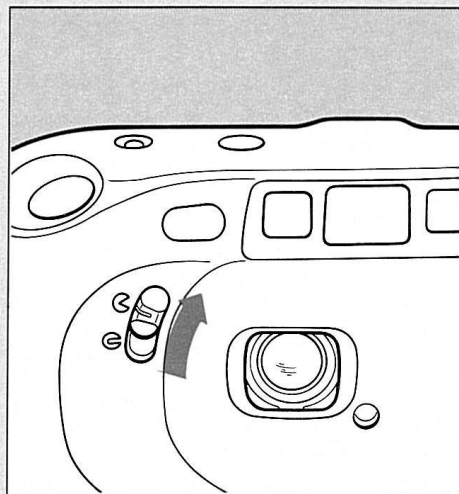
- フィルムカウンターに“1”が出ないときはシャッターが切れません。もう一度入れ直してください。
- フィルム確認窓でフィルムが入っているかどうかを確認できます。

撮影編

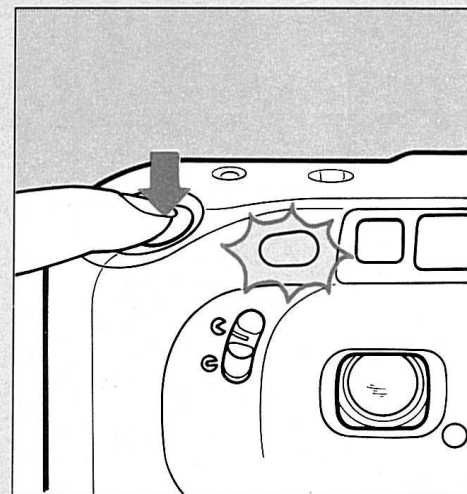
撮影の前に次のことをチェックしてください。



1 フィルムは入っていますか？(P.14参照)



2 レンズカバーは開いていますか？(P.6参照)



3 電池はOKですか？
(P.7参照)

1. 撮影です



ピントは撮影範囲枠(黄色カラーフレーム)の中央にあるものに合いますので、ピントを合わせたいものを撮影範囲枠の中央に入れてください。

1 シャープに写したいものを撮影範囲枠の中央に入れます。

- ファインダーは黄色カラーフレームが均等に見えるようにのぞいてください。
- 1m以内はピントが合いません。

2 シャッターボタンを静かに押して撮影します。(暗いところではストロボが自動発光します。)

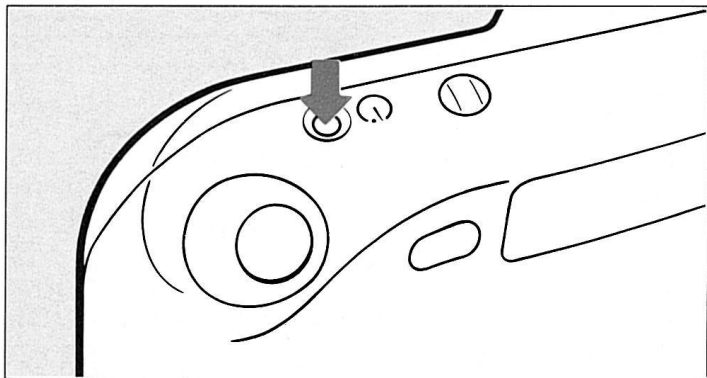


■ ストロボ撮影できる距離の範囲(ネガカラーフィルム使用時)

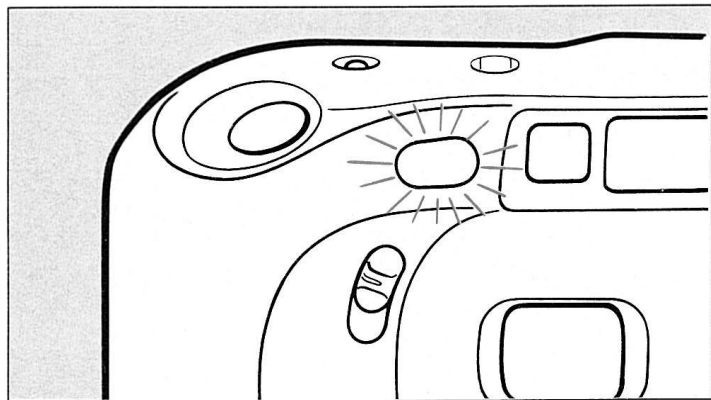
ISO 100	1.0~3.2m
ISO 200	1.0~4.5m
ISO 400	1.0~6.4m

〈セルフタイマー撮影〉

自分も一緒に写りたいときは、セルフタイマーをご利用ください。

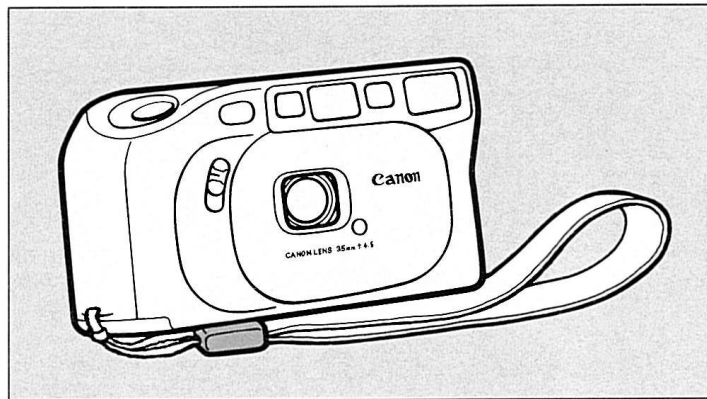


1 ファインダーをのぞき中央に人物をいれて、セルフタイマーボタンを押します。



2 セルフタイマーボタンから指を離すと、赤ランプが点滅を始め、約10秒後にシャッターが切れます。シャッターが切れる2秒前に点滅が速くなります。

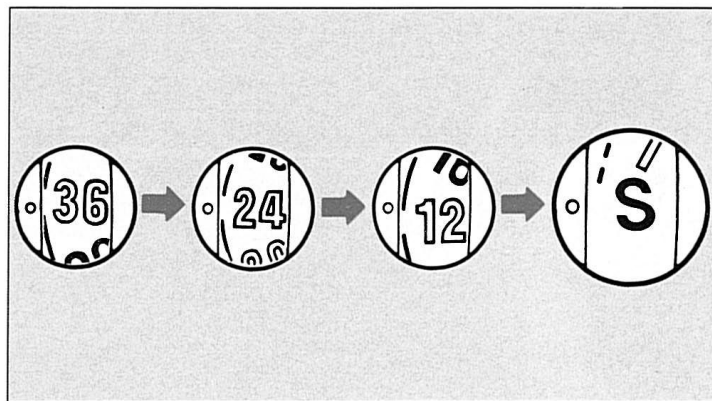
- セルフタイマーを途中で解除したいときは、レンズカバーを閉じてください。



- カメラを机の上やテーブルなど平らなところに置いて撮影するときには、ストラップのゴム部を図のように利用してください。

〈フィルムを取り出します〉

フィルムは最後まで撮り終わると、自動的に巻き戻されます。巻き戻しが終わると自動停止して、フィルムカウンターに“S”が出ます。“S”が出ていることを確認してから、裏ぶたを開けフィルムを取り出してください。



- 巻き戻し中は、フィルムカウンターが逆算します。
- フィルムの規定枚数以上撮影すると、最後のコマは現像処理でカットされることがあります。

2. 楽しい写真を撮りましょう

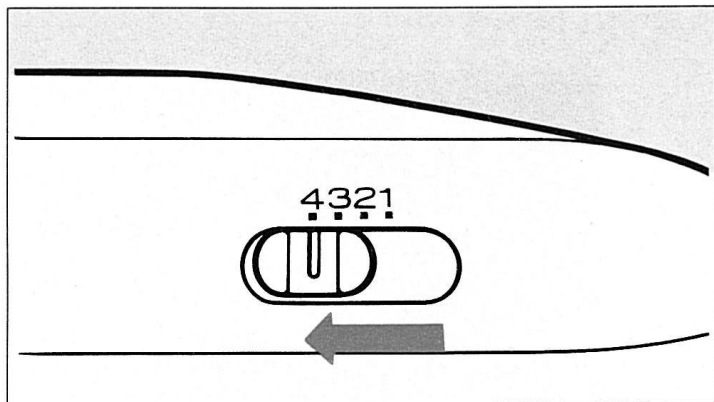


〈チャンスをのがさない枚数予約撮影〉

このカメラは最高4枚まで枚数を予約して撮影することができます。1枚目ではカメラを意識した堅い表情の人でも、「ホッ」と一息ついた瞬間を2枚目、3枚目がとらえて、自然で愉快的な写真が写せます。



また、4人までの記念写真なら、あとで焼き増しする手間もはぶけます。



- 1 枚数予約セットつまみで希望枚数をセットします。
- 2 構図を決めて、シャッターボタンを1回押します。セット枚数分シャッターが続けて切れます。



シャッターボタンを押したあとは、すぐに指を離してください。押したままにするとセット枚数より1枚多く撮影されます。

1枚目のピント位置で4枚まで撮影されますので、カメラと撮りたいものの距離は変えないでください。

セルフタイマーと組み合わせた撮影では、2枚目以降のシャッターが切れる2秒前に赤ランプが点滅します。

〈工夫ひとつで写真のイメージがこんなに変わります〉

①縦と横を使い分けてみましょう

カメラを横に構えるか縦に構えるかで、写真のイメージがこんなに違います。



横位置……静的で安定感があり、広さを感じさせます。



縦位置……奥行感をだしたいときは、縦に構えてください。

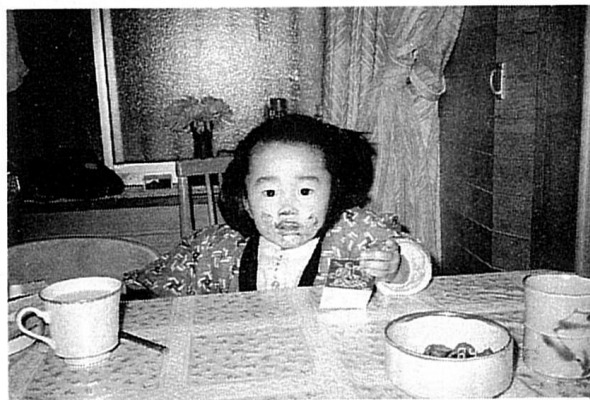
②写す位置を変えてみましょう

目の高さからだけでなく、低いところや高いところから写してみましょう。

低い位置で撮ると

……子供を写すときは、その子の目の高さでカメラを構えてみてください。

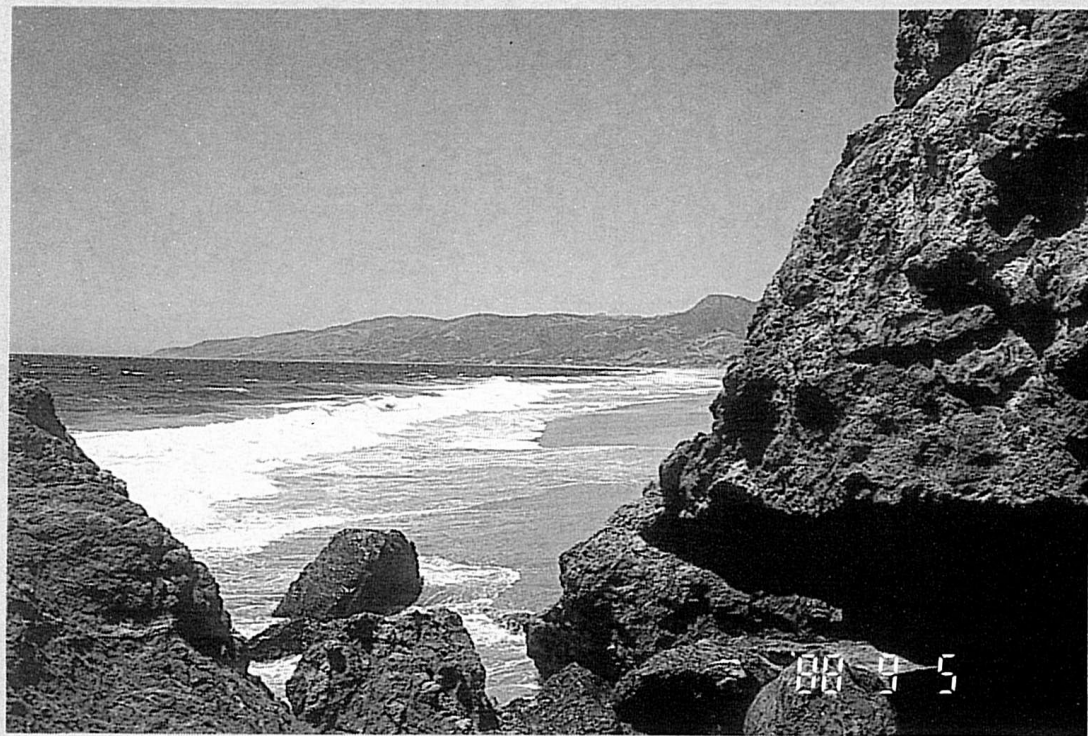
これまでと違った新鮮な写真になります。



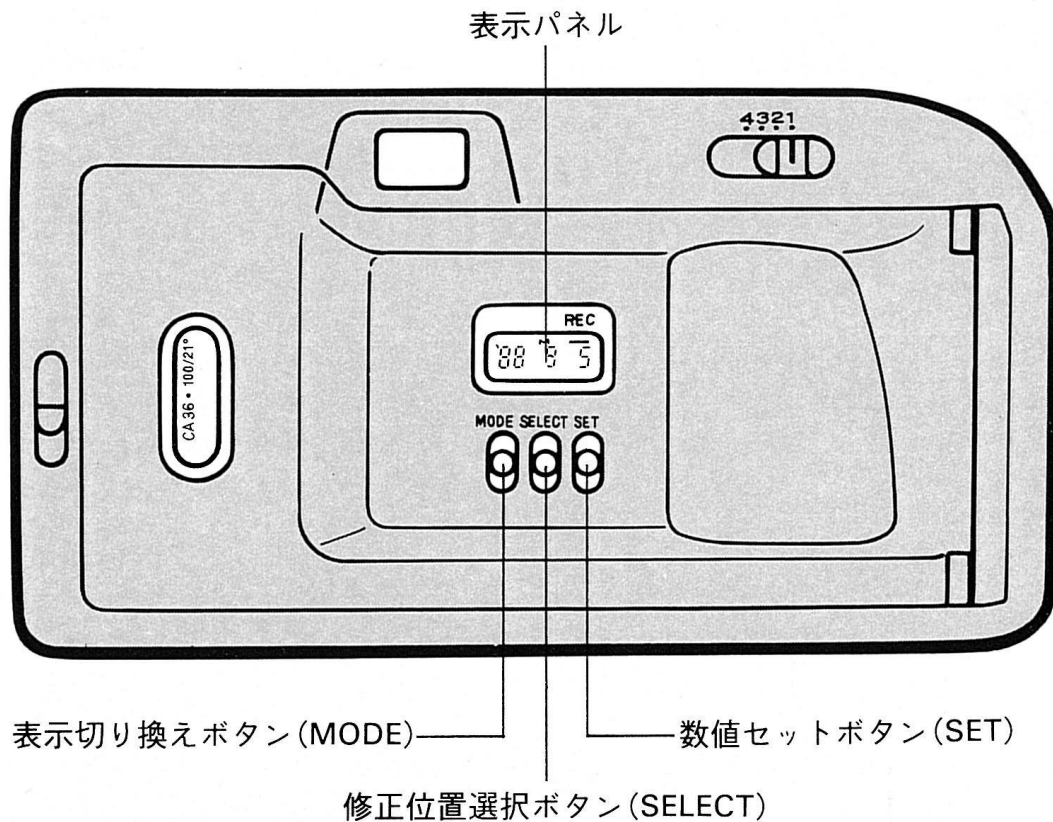
③もっと近づいて写しましょう

このカメラは1mまで近づいて写せます。いつも同じ距離からばかりでなく、撮りたいものにできるだけ近づいて写してみましょう。

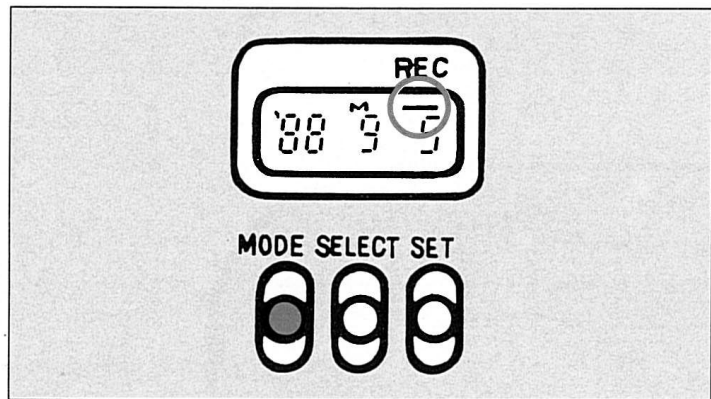
オートデート機構編



各部名称



1. 写し込み表示の選択



表示切り換えボタン(MODE)を押して、写し込みたい表示を選びます。

■ **—** は写し込み確認表示で、シャッターを切ると点滅して知らせます。

■ **M** は〈月〉を表します。

◇〈年・月・日〉表示



(1988年 9月 5日)

◇〈日・時・分〉表示



(5日 16時 48分)

◇〈ハイフン〉表示



(写し込みなし)

◇〈月・日・年〉表示



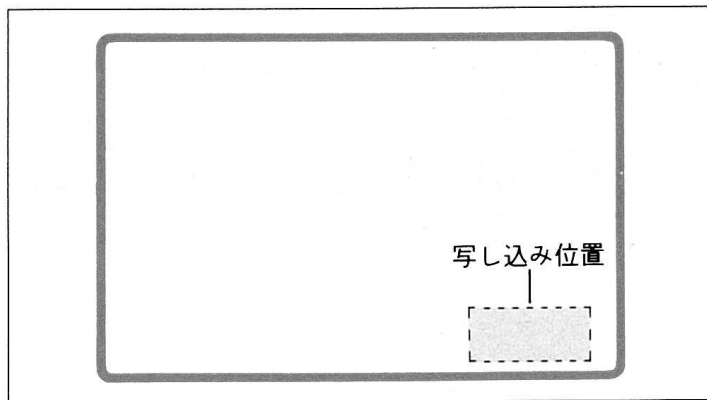
(1988年 9月 5日)

◇〈日・月・年〉表示



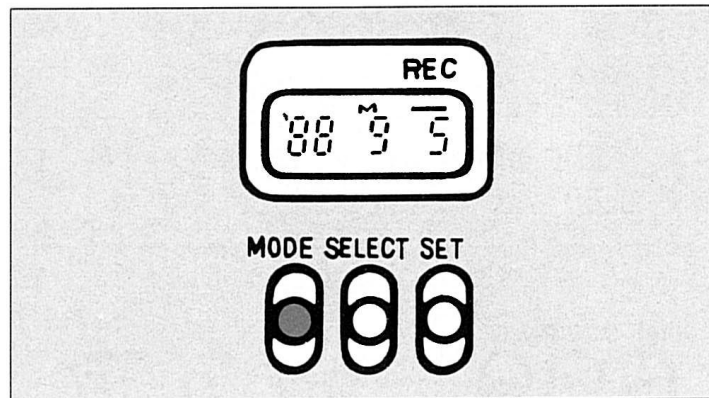
(1988年 9月 5日)

2. 日付けの修正

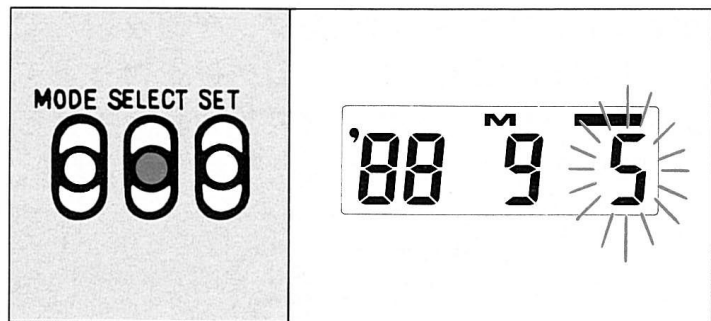


- 日付けはP.24の写真のように写し込まれます。

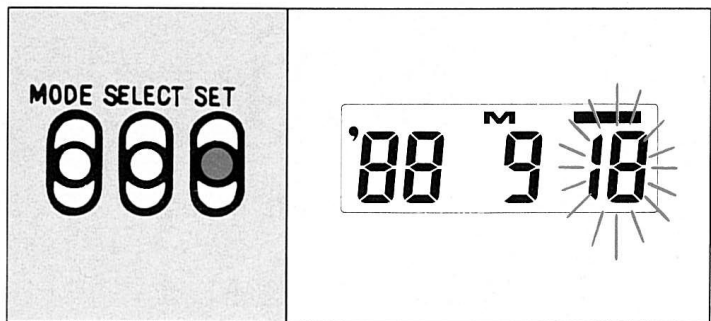
2019年までのオートカレンダーを組み込んでいますので、撮影のたびに日付けをセットする必要はありませんが、海外旅行などで日付け・時刻を修正するときは次のようにします。



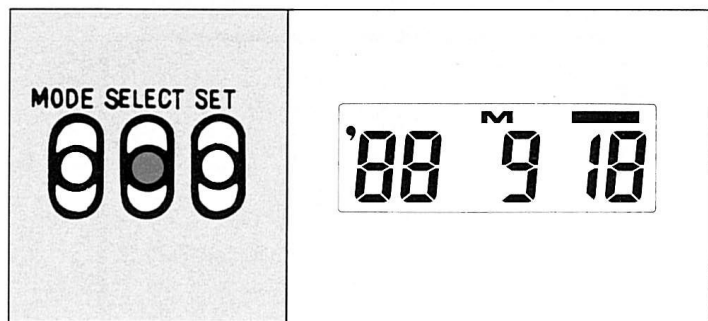
- 1 表示切り換えボタン(MODE)を押して、表示パネルに修正したい〈年・月・日〉表示(〈日・時・分〉表示)を出します。



2 修正位置選択ボタン(SELECT)を押して、修正したい数字を点滅させます。



3 数値セットボタン(SET)を押して修正します。



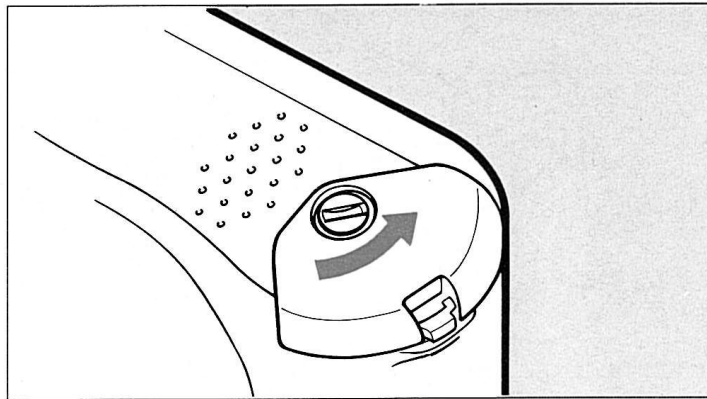
4 点滅が止まるまで修正位置選択ボタン(SELECT)を押します。

- 数値セットボタンは1回押すと1進み、押し続けると早送りします。
- 日付は出荷時に日本時間にセットされています。
- オートポークライト2デートには日付けのための電池(リチウム電池)も組み込まれています。

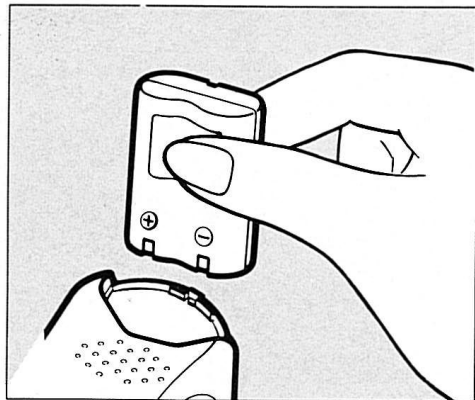
電池の交換

〈カメラ用の電池〉

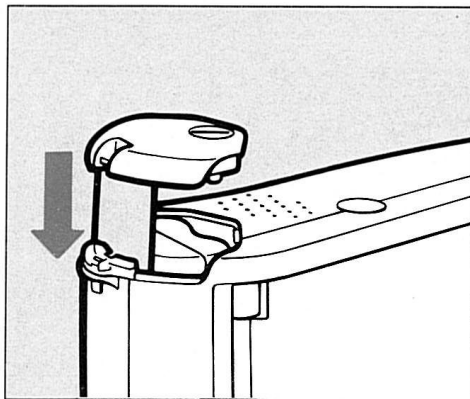
シャッターボタンを軽く押しても赤ランプが点灯しないときは、電池がありませんので、次の手順で電池を交換してください。



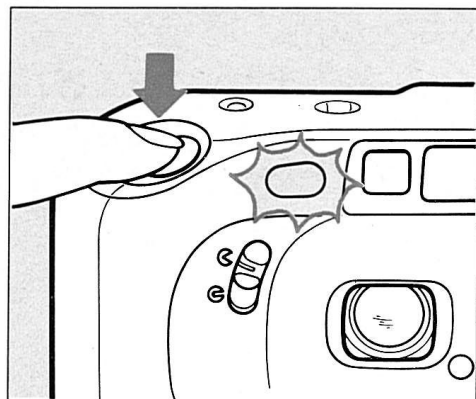
- 1 コインなどを使って電池室のふたを取り外します。



2 電池を取り出し，新品のリチウム電池(2 CR5 6V)を入れます。



3 図のように保護シートを電池室の壁に添って差し込み，ふたを取り付けます。



4 シャッターボタンを軽く押して，赤ランプの点灯を確認します。

- 電池を交換するとき以外は，絶対に電池を取り出さないでください。

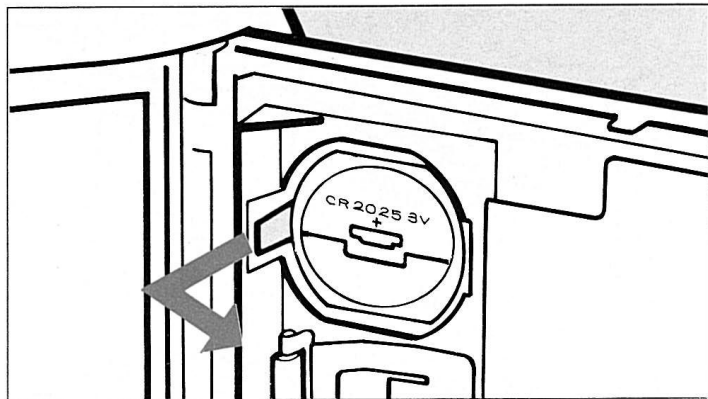
〈デート用の電池〉

写し込まれた数字が見えにくくなったときは、デート用の電池を交換してください。

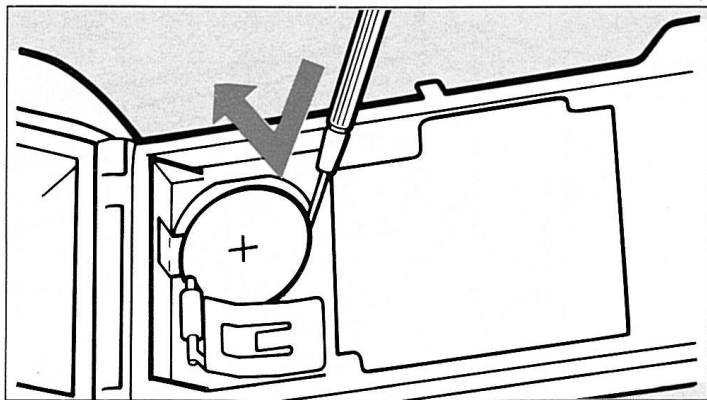
使用電池：ボタン型リチウム電池

CR 2025 3V 1個

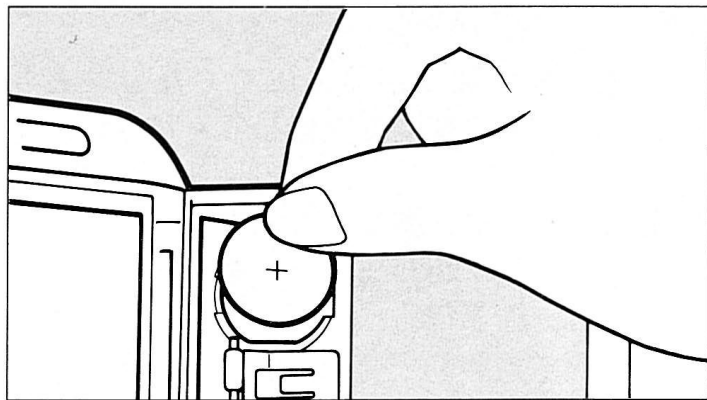
寿命：約3年



- 1 裏ふたを開け、電池室のふたを取り外します。



2 図のように、電池を取り外します。



3 電池の+を上にして入れ、ふたを取り付けます。

4 日付けと時刻をセットし直します。

電池は幼児の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

カメラを修理に出す前に

カメラの調子が悪いときは次の表を参考にしてチェックしてください。

症 状	原 因	解決方法	ページ
1. シャッターボタンを押してもシャッターが切れない	①レンズカバーが閉じている	①レンズカバーを開けます	P. 6
	②ストロボ充電中(約1.5秒)	②そのまま押しつづけるとシャッターが切れます	P. 16
	③フィルムが正しく装てんされていない(フィルムカウンターに“1”が出ていない)	③フィルムを正しく装てんし直します	P. 14
	④巻き戻されたフィルムがカメラに入っている	④フィルムを取り出し新しいフィルムを装てんします	P. 19
2. 撮影の途中で赤ランプが点灯しなくなった	• 電池の寿命が終わりに近づいている	• 電池を交換します	P. 29
3. できあがった写真がはっきり写っていない	①ピントを合わせたいものを撮影範囲枠の中央に入れていない	①ピントを合わせたいものを撮影範囲枠の中央に入れます	P. 16
	②測距窓をおおっていた	②髪や指などで測距窓をおおわないようにします	P. 9
	③シャッターボタンを押すときにカメラが動いた(手ぶれ)	③シャッターボタンは静かに押します	P. 10

Q & A

Q.1 リバーサルフィルム(スライド用フィルム)は使えますか？

A.1 はい使えます。ただし、フィルム感度ISO50, 100, 200, 400のものを使用してください。

Q.2 フィルム感度別のストロボ撮影できる距離が知りたいのですが。

A.2 下の表のようになります。

ISO 100	1.0～ 3.2m
ISO 200	1.0～ 4.5m
ISO 400	1.0～ 6.4m
ISO 1000	1.0～ 9.0m
ISO 1600	1.0～12.8m

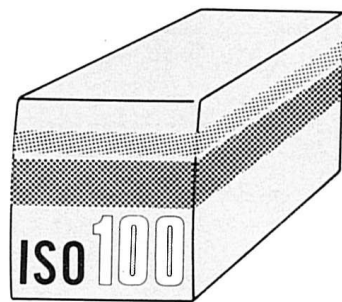
(ネガカラーフィルム使用時)

Q.3 フィルム感度(ISO)とは何ですか？

A.3 フィルムが光に感じる度合を数字で表したもので、その数字が大きくなるほど敏感に光を感じます。通常の撮影ではISO100, 200, 400のものを使用してください。

Q.4 DXマークのないフィルムは使えないのですか？

A.4 使えますが、ただし、フィルム感度はすべてISO100にセットされますのでISO100をご使用ください。



Q.5 写真に写し込まれた日付けが読みにくいことがあります。

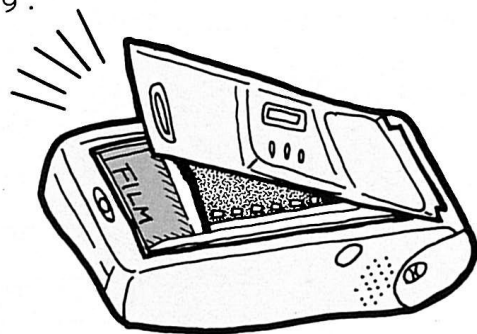
A.5 写し込み位置の背景が明るいからです。暗いものがくるようにしてください。また、数字はオレンジ色に写りますので、オレンジ系のものや白いものが写し込み位置にこないようにしてください。

Q.6 表示パネルの数字が薄くなってきたのですが。

A.6 液晶の交換時期です。(寿命：約5年) 最寄りのキャノンサービスステーションで液晶の交換をご用命ください。(有料)

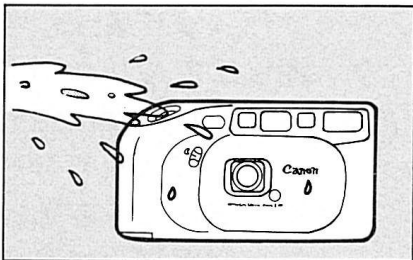
Q.7 誤まって、撮影の途中で裏ぶたを開けたらどうなりますか？

A.7 もちろんフィルムは感光してしまいますが、すぐ裏ぶたを閉めて2～3枚空撮りしてください。状況によって異なりますが、撮ったものの何枚かのフィルムは救われるかもしれません。なお、撮り直しのできるときは、新たなフィルムで撮り直されることをおすすめします。



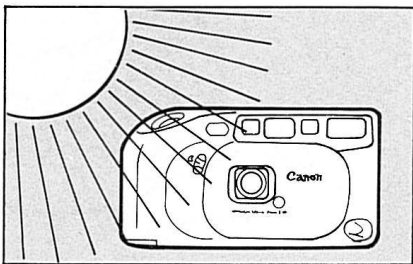
取り扱い上の注意

- ◆このカメラは防水構造になっていませんので、雨天下や水中では使用できません。万一、水にぬれてしまったときは、早めに最寄りのキャノンサービスステーションにご相談ください。また水滴がついたときは乾いたきれいな布で、潮風にあたったときは固く絞ったきれいな布でよくふきとってください。

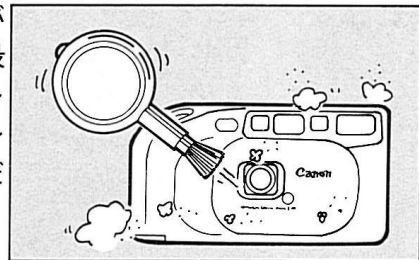


- ◆カメラには、高電圧回路が内蔵されていますので危険です。絶対に自分で分解しないでください。

- ◆直射日光下の車の中などは高温となり、故障の原因となる場合がありますので放置しないでください。

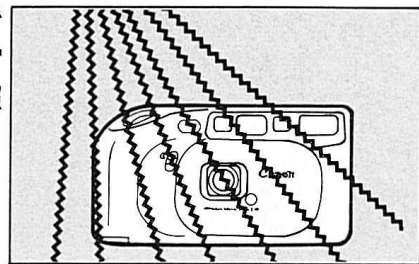


- ◆レンズやフィルム室内にごみがついているときは、市販のブローブラシで吹きとばすだけでください。カメラボディおよびレンズは有機溶剤を含むクリーナーなどでふかないでください。特に汚れがひどいときは、最寄りのキャノンサービスステーションにご相談ください。



- ◆カメラを長期間使用しないときは、風通しの良い涼しく乾燥した場所に保管してください。

- ◆フィルムはカメラに入っている場合でも、空港でのX線検査による感光は防止されません。フィルムが入ったカメラであることを検査官に伝え、X線の照射を避けてください。

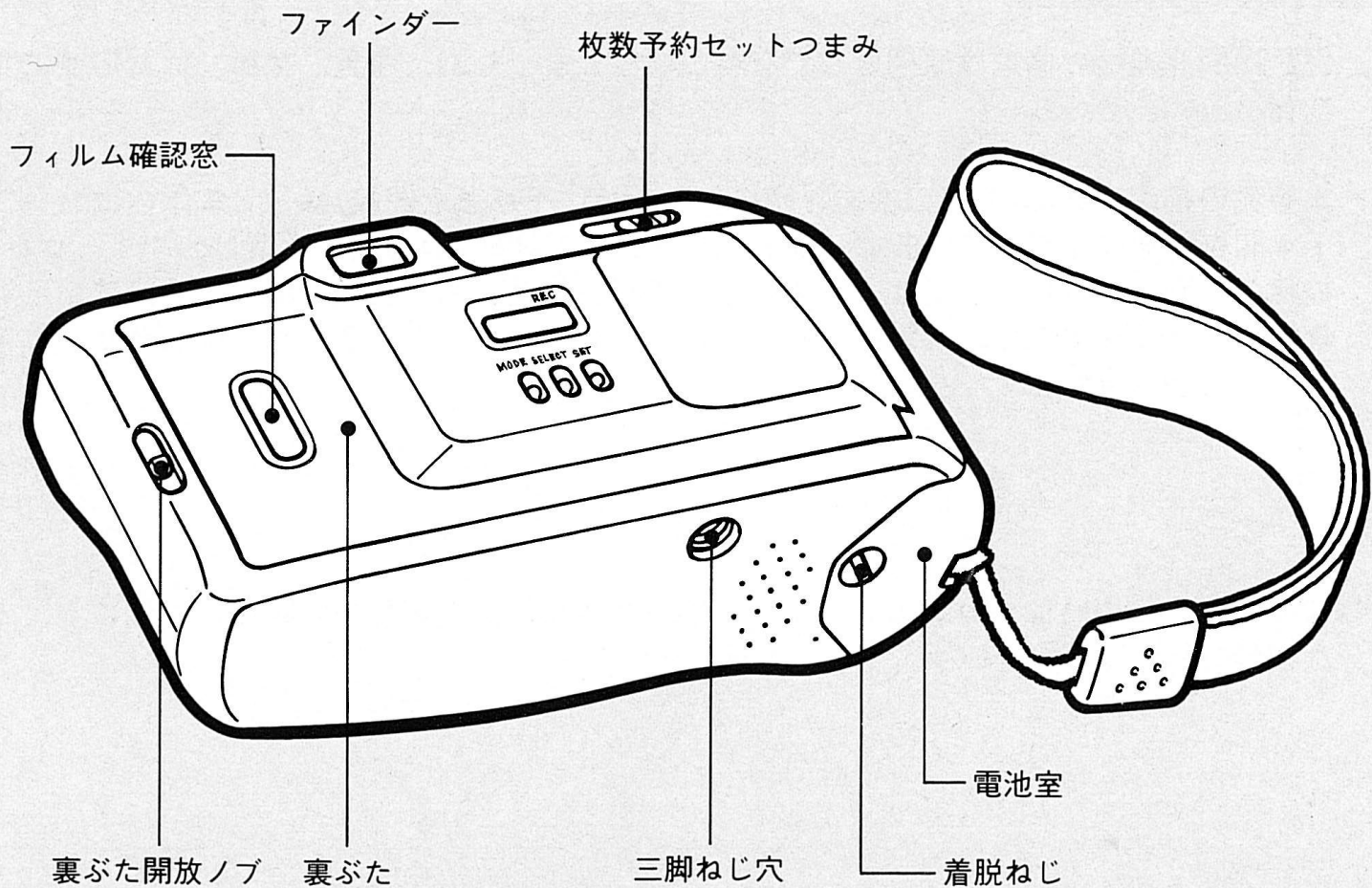


主要性能一覧

型式	: 35mmレンズシャッター式AF全自動カメラ
使用フィルム	: 35mmフィルム(DXマーク付き)
画面サイズ	: 24×36mm
レンズ	: キヤノンレンズ 35mmF4.5 3群 3枚構成
レンズカバー	: 開けるとレリーズ可能, 閉じるとレリーズロック
焦点調節	: アクティブオートフォーカス
撮影距離	: 1.0m~∞
シャッター型式	: 絞り兼用プログラム式電磁駆動シャッター
ファインダー	: 逆ガリレオファインダー 倍率: 0.45倍
ファインダー情報	: 撮影範囲枠(黄色カラーフレーム)
フィルム装てん	: 自動(自動空送り付き)
フィルム巻き上げ	: 自動
フィルム巻き戻し	: 自動, 終了後自動停止 途中巻き戻し不可
フィルムカウンター	: 順算式, 回転メカニカルカウンター 4枚ごとに枚数数値表示 フィルムに連動して逆算
セルフタイマー	: 電子式セルフタイマー セルフタイマーボタンにより作動, 約10秒後レリーズ ボディ正面赤色 LED表示
測光作動範囲	: EV10~17 F4.5 1/40~F32 1/125
フィルム感度	: DXコードにより1段ごとに自動セット (ISO 50~1600)
内蔵ストロボ	: 低輝度自動発光式

ストロボ連動範囲	: 1.0~3.2m(ネガカラーフィルムISO100使用時)
ストロボ充電時間	: 約1.5秒
枚数予約機能	: 枚数予約セットつまみによる 1回のレリーズでセット枚数分撮影 予約枚数: 2~4枚
電源	: リチウム電池 2CR5 6V 1個
撮影可能本数	: 24枚撮りフィルム 約70本 (ストロボ30%使用時), ただし当社試験条件による
バッテリーチェック	: シャッターボタンを軽く押して, 作動表示ランプ0.2秒間点灯時OK
大きさ(デート付き)	: 139.3(幅)×72.4(高さ)×49.9(奥行)mm
重量(デート付き)	: 325g(電池含む)
オートデート機構	
方式	: 液晶表示式 クォーツデジタル時計内蔵オートカレンダー (西暦2019年まで, うるう年自動修正)
写し込みデータ	: ①年・月・日②日・時・分③写し込みなし ④月・日・年⑤日・月・年 の5通り
時計機構	: 常温20℃下で月差±120秒以下
電源	: ボタン型リチウム電池 CR2025 3V 1個 寿命: 約3年

★ここに記載のデータはすべて当社試験基準によります。
★都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。



ファインダー

枚数予約セットつまみ

フィルム確認窓

REC
MODE SELECT SET

裏ぶた開放ノブ

裏ぶた

三脚ねじ穴

電池室

着脱ねじ

アフターサービス

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃、諸掛りはお客様にてご負担願います。
 2. 本製品の補修用部品(製品の機能を維持するために不可欠な部品)は、日本国内において7年間を目安に保有しています。従って原則として期間中は修理をお受けします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましては、お買い上げ店、または当社サービス機関にお問い合わせください。
- 修理品を送付の場合は、見本のフィルムを添付する等、修理箇所を明確にご指示の上、十分な梱包でお送りください。

Canon

キヤノン株式会社
キヤノン販売株式会社

〒108 東京都港区三田 3-11-28
カメラ相談室 (03) 455-9353

◎サービスステーション・営業所

札幌	〒060 札幌市中央区北三条西4-1 (第一生命ビル)	☎(011)	231-1353
仙台	〒980 仙台市一番町1-1-30 (やまと生命仙台ビル)	☎(022)	266-4151
新潟	〒950 新潟市東大通り1-4-1 (マルタケビル)	☎(0252)	43-2111
銀座	〒104 東京都中央区銀座5-9-9	☎(03)	573-7834
新宿	〒163 東京都新宿区西新宿2-6-1 (住友三角ビル地下1階)	☎(03)	348-4725
横浜	〒221 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-4 (安田生命横浜西口ビル)	☎(045)	312-0211
大宮	〒330 大宮市大成町2-273	☎(0486)	66-3930
静岡	〒420 静岡市常盤町2-13-1 (住友生命静岡常盤町ビル)	☎(0542)	55-2241
名古屋	〒450 名古屋市中村区名駅3-21-7 (三交ビル)	☎(052)	563-6822
梅田	〒530 大阪市北区中崎西2-4-12 (梅田センタービル)	☎(06)	373-8181
都京	〒604 京都市中京区東洞院通御池下ル笹屋町435 (京都御池第一生命ビル)	☎(075)	241-0216
沢	〒920 金沢市玉鉾2-266	☎(0762)	91-1215
高松	〒760 高松市紺屋町9-6 (高松大同生命ビル)	☎(0878)	22-3666
広島	〒730 広島市中区小町2-30 (第二有楽ビル)	☎(082)	245-7911
福岡	〒812 福岡市博多区美野島1-2-1 (キヤノン販売福岡ビル)	☎(092)	411-4173
沖縄	〒902 那覇市安里102 (日本生命安里ビル)	☎(0988)	67-2106

◎営業所

千葉	〒280 千葉市末広2-13-2	☎(0472)	61-5121
大分	〒870 大分市城崎町1-3-31 (富士火災大分ビル)	☎(0975)	37-4117

◎サービスセンター

東京	〒108 東京都港区港南2-13-29	☎(03)	450-2731
大阪	〒540 大阪市東区森の宮中央2-5-3 (大阪研修センター1階)	☎(06)	941-1076

◎休業のご案内

新宿(第3木曜日)銀座・梅田(日曜日・祝日)その他(土・日曜日・祝日)

J